

市町村名	11南城市						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-①	スポーツツリズム推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア		
担当部署名	教育部生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化		
事業内容	市陸上競技場における天然芝の適正管理を行い、プロ・サッカーチームのキャンプ受入に適した環境整備を行うことで、プロ・サッカーチームのキャンプ誘致に繋げる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	(a) 当初予算額	13,284	13,284	13,519	10,230	10,230
		(b) 予算現額	13,284	13,284	13,519	10,230	10,120
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	▲ 110
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)	13,284	13,284	13,519	10,230	10,120	
	B. 執行済額	13,262	13,229	13,365	10,230	10,120	
	うち交付金充当額	10,609	10,583	10,692	8,184	8,096	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.8%	99.6%	98.9%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明	入札差金を第4回変更交付決定にて減額し、適正に予算を執行することが出来た。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	良質な芝生を維持する為の適正管理	目標	( 適正管理の実施 )	( 適正管理の実施 )	( 適正管理の実施 )	( 適正管理の実施 )	
		実績	適正管理の実施	適正管理の実施	適正管理の実施	適正管理の実施	
	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )		
	実績						
達成状況説明	天然芝を良質な状態で維持するため、①シャッタリング作業 ②エアレーション作業 ③バーチカル作業 ④スリッティング作業 ⑤ドリルエアレーション作業 ⑥液剤散布作業 ⑦目砂散布作業を実施し、キャンプ誘致の環境整備を行った。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	プロ・サッカーチームのキャンプ誘致件数:3チーム以上	目標	(                    )	( 3チーム )	( 3チーム )	( 3チーム )	(                    )
		実績		2チーム	1チーム	2チーム	
	目標	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	(                    )	
	実績						
進捗状況説明	キャンプシーズン1月中旬から2月上旬においてプロ・サッカーチーム(ジェフユナイテッド市原・千葉/FCふじざくら山梨)2チームを受け入れた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・本市は、サッカーキャンプ地としての需要は高い状況にあり、今季においても新規チームの受け入れも含め、複数のチームからキャンプ地として利用の意向がみられたが、チーム日程、宿泊先等の日程が合わず目標を達成することができなかった。また、今後3チーム以上受け入れる場合、芝へのダメージによる養生期間を考慮すると、チームのキャンプ希望期間より受入期間が減少することや、芝が回復しきれずキャンプのクオリティーが低下することが懸念される。</p> <p>・キャンプ地として地位を確立するために、市民の方々の理解や協力が必要となるが、キャンプ期間の短いチームとの地域連携、関係構築が短期間で実施できるかが懸念される。</p>	<p>・本市は、宿泊施設も限られるため、チームと早めにキャンプの受入調整を行う必要がある。また、チームのキャンプ希望期間を減少させず、かつ、キャンプのクオリティーを維持するためには、芝の状況に応じて近隣市町村に受け入れてもらうなど、芝の養生期間を確保しつつ、チームのキャンプ受入期間を確保する必要がある。</p> <p>・キャンプ期間の短いチームの地域連携や関係を構築していくためには、早い段階でのコラボ事業を模索し決定するか、若しくは、キャンプ期間のみならず年間を通じた事業を実施していく必要がある。</p>

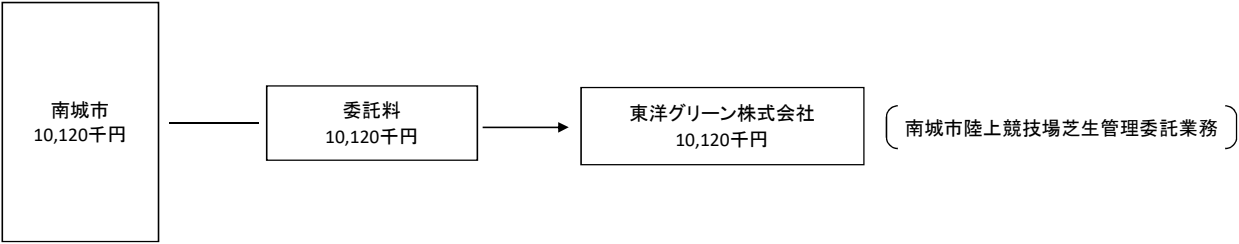
**今後の取り組み方針**

・チームへキャンプ日程について早期に調整を行い、宿泊施設予約などキャンプ受入体制を整える。また、近隣市町村と受け入れ状況及び芝の状況を共有し、チーム受け入れについて調整していく。それにより、多くのチームを受け入れながらも、芝の状態を維持し、キャンプ地としてのクオリティーを担保していく。

・サッカー指導者講習会やサッカー教室等を単発的かつキャンプ期間のみで限定するのではなく、通年とおとしてのオンライン教室や相談会等がチーム関係者としてできるような関係を構築していく。また、受け入れ時にサッカーのみならず、第一産業とのコラボ商品の開発を行い、シーズン中(ホームゲーム等)に販売ブース等を設置し商品の販売を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
10,120	10,120	8,096	2,024	0



資金の流 れ、費 目 ・ 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○陸上競技場の使用状況と芝生や土壌の状態を把握できる業者と契約を交わす必要があるが、業務の性質から競争入札に適さないと判断し随意契約としているため、選定方法は妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予定通り事業実施でき、事業規模も適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	11南城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	第2次南城市観光振興計画検証調査事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第6章-3-(3)-イ 歴史文化の継承・発展及び観光振興		
担当部署名	企画部 観光商工課	事業実施 (予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)		
事業内容	第2次南城市観光振興計画の取組の効果を検証するため、中間評価として、本市の観光振興における進捗状況の確認、見直しを行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	5,000				
		(b)予算現額	4,950				
		(c)増減額(b-a)	▲50				
		(d)繰越額	0				
	A.計(b+d)		4,950				
	B.執行済額		4,950				
	うち交付金充当額		3,960				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通り予算を執行することが出来た。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	第2次南城市観光振興計画の評価検証の実施	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
	目標	( )	( )	( )	( )		
	実績						
達成状況説明	第2次南城市観光振興計画の評価、検証、見直しを実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R5年度)	
	第2次南城市観光振興計画の検証・見直しの完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	
		実績		完了			
	【R5成果目標】 一人当たりの観光消費額:16,000円	目標	( )	( )	( )	( )	( 16,000円 )
実績							
進捗状況説明	第2次南城市観光振興計画の検証、見直しを完了した。						

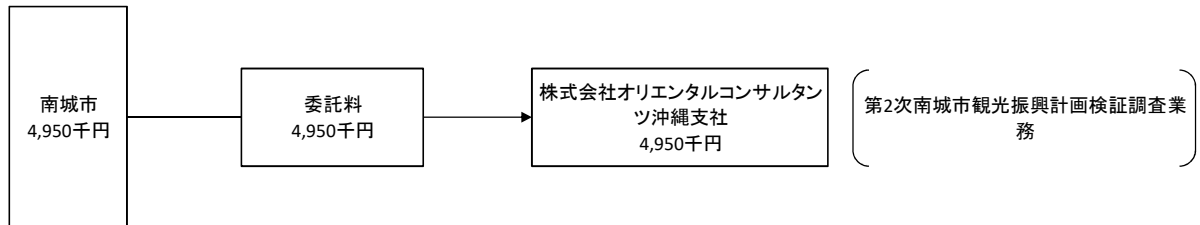
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光客の実態と市民意識を踏まえ、アフターコロナにおけるインバウンドへの対応や観光DXとデジタル化の推進といった時代の変化に対応した取り組みが必要である。また、市民ひとりひとりが効果を実感でき、参画できるまちづくりに取り組む必要がある。	時代の変化に機敏に対応するために、本市を訪れた観光客の消費額や滞在時間等の観光動態を把握するためのシステムの導入を検討する。

**今後の取り組み方針**

見直された観光振興計画の進捗管理を行うためにwebアンケートシステムを導入し観光動態把握を実施する。また、その結果を踏まえて行政、観光協会、商工会、観光関連事業者、市民等と連携して新たな観光メニューの開発や分析に取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,950	4,950	3,960	990	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、一般公募で選出しており、妥当であったと考えている。 ○予定通り事業実施でき、予算規模も適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	11南城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	デジタルアーカイブ事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育部 文化課	事業実施(予定)年度	平成30年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	歴史の継承及び観光誘客を図るため、本市の歴史・文化財・伝統芸能といった文化遺産のデジタルアーカイブ化を実施し、情報公開・発信を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,310	—	37,024	39,185	10,286
		(b) 予算現額	6,310	—	36,390	38,454	23,894
		(c) 増減額(b-a)	0	—	▲634	▲731	13,608
		(d) 繰越額	0	—	0	0	0
	A. 計(b+d)		6,310	—	36,390	38,454	23,894
	B. 執行済額		6,245	—	36,121	38,381	23,702
	うち交付金充当額		4,996	—	28,896	30,705	18,961
	次年度繰越額		0	—	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.0%	—	99.3%	99.8%	99.2%
予算の状況の説明		ほぼ計画通りに事業を執行した。不用額192千円については、変更契約による委託料減や会計年度任用職員職員手当・旅費の残である。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	文化財活用コンテンツの取り組み	目標	(    )	(    )	( 3エリア )	( 3エリア )	
		実績			3エリア	4エリア	
	資料情報の充実化及び新規資料の公開	目標	(    )	(    )	( アーカイブ化及び公開 )	( 5,000点 )	
		実績			アーカイブ化及び公開	5,000点	
達成状況説明	・文化財活用コンテンツの取り組みとして、市内4エリア(つきしろ、親慶原、志喜屋、平良)にて古写真収集・聞き取り、収集した資料のトークイベントを行った(なお、親慶原地域については、地域住民の意向により古写真収集・聞き取りのみ実施)。 ・資料情報の充実化及び新規資料の公開として、写真資料5,000枚を市HP「なんじょうデジタルアーカイブ」にて公開した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数	目標	(    )	(    )	( 延べ1,200人以上 )	( 延べ1,200人 )	(    )
		実績			965人	926人	
	デジタルアーカイブ閲覧数60,000pv以上	目標	(    )	(    )	(    )	( 60,000pv )	(    )
		実績				73,768pv	
	進捗状況説明	・デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数として、観光コンテンツ「南城アーカイブツーリズム」の利用者数を計測した。目標値に届かなかった。 ・「なんじょうデジタルアーカイブ(なんデジ)」の閲覧数を計測し、目標値を大きく上回った。					

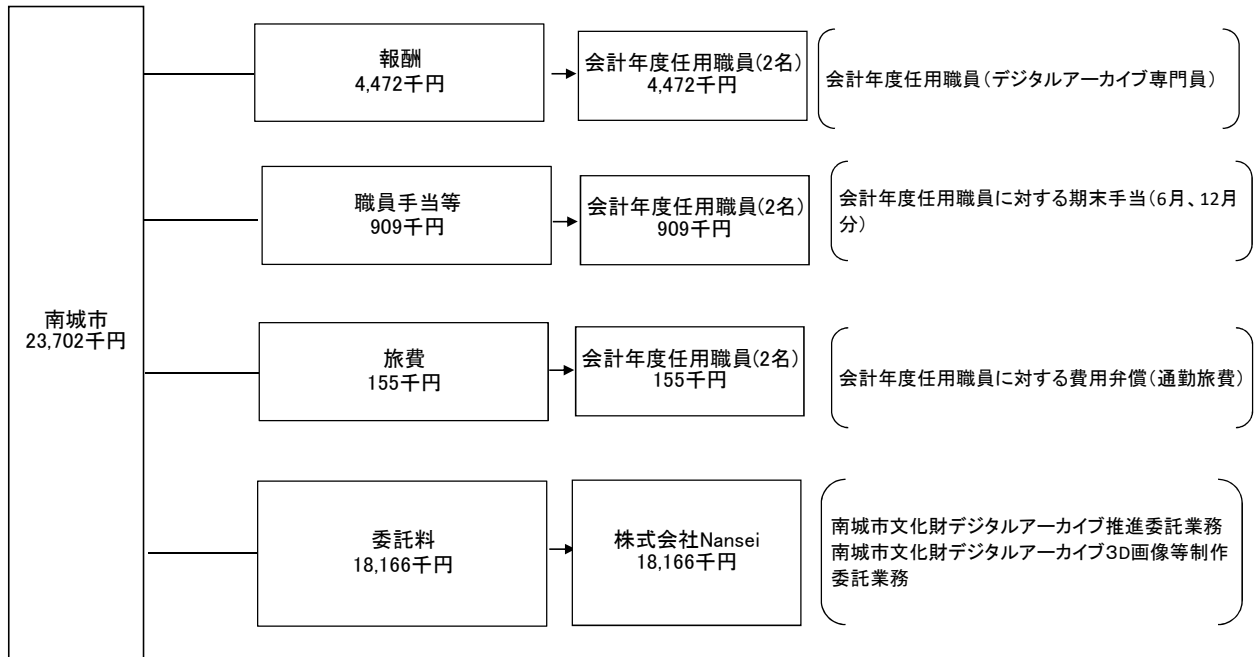
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・デジタルアーカイブを活用した観光コンテンツの利用者数が目標値に届かなかった原因として、観光コンテンツ「南城アーカイブツーリズム」への新資料の追加が3月末になったため、公開の時期が遅くなったこと、情報発信の機会が少なかったことが考えられる。</p>	<p>・南城アーカイブツーリズムをより多くの人々に周知するため、新規情報の発信に加えて、公開済みのコンテンツ資料の紹介など、情報発信の機会をより密に行う。</p>

**今後の取り組み方針**

・「なんデジ」「南城アーカイブツーリズム」の周知・利用者増を図るため、SNS等での情報発信・普及促進の取り組みを行う。今後は新規公開資料の発信に加えて、公開済み資料の紹介等を定期的に行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
23,702	23,702	18,961	4,741	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札により選定しており、妥当である。 ○不用額は事業費の1%以内であり、適正な規模であった。 ○費目・用途については精算時に検査を実施し、事業目的に即し必要なものに限定されていると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	11南城市						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-④	南城市歴史文化発信事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア		
担当部署名	教育部 文化課	事業実施 (予定)年度	令和4~8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及  Ⅲ-3-(3)		
事業内容	南城市には世界遺産・斎場御嶽をはじめ、国指定史跡や地域の伝統芸能などが多く所在しているが、情報発信の場がなく、積極的な活用ができない状況となっている。包括的な発信拠点を整備することで、沖縄独自の歴史文化財等を積極的に活用した情報発信を行うことにより、県内外からの観光誘客を図る。今年度は、歴史文化発信施設の基本構想策定業務を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R9年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	6,636				
		(b)予算現額	6,636				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)		6,636				
	B. 執行済額		6,431				
	うち交付金充当額		5,144				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		96.9%				
予算の状況の説明		不用額205千円については委託業務の入札残によるものである。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	歴史文化発信拠点基本構想の策定	目標	( 策定実施 )	( )	( )	( )	
		実績	策定完了				
	不動産鑑定委託	目標	( 委託実施 )	( )	( )	( )	
		実績	委託完了				
	地籍測量委託	目標	( 委託実施 )	( )	( )	( )	
		実績	委託完了				
	達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南城市歴史文化発信拠点基本構想を計画通り策定した。</li> <li>・南城市歴史文化発信拠点用地の不動産鑑定及び地積測量を計画通り実施した。</li> </ul>					
	成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度
歴史文化発信拠点基本構想の策定完了		目標	( )	( 策定完了 )	( )	( )	( )
		実績		策定完了			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明		歴史文化発信拠点基本構想の策定を目標としており、計画通り策定が完了した。次年度は南城市歴史文化発信拠点基本計画策定を実施する。					

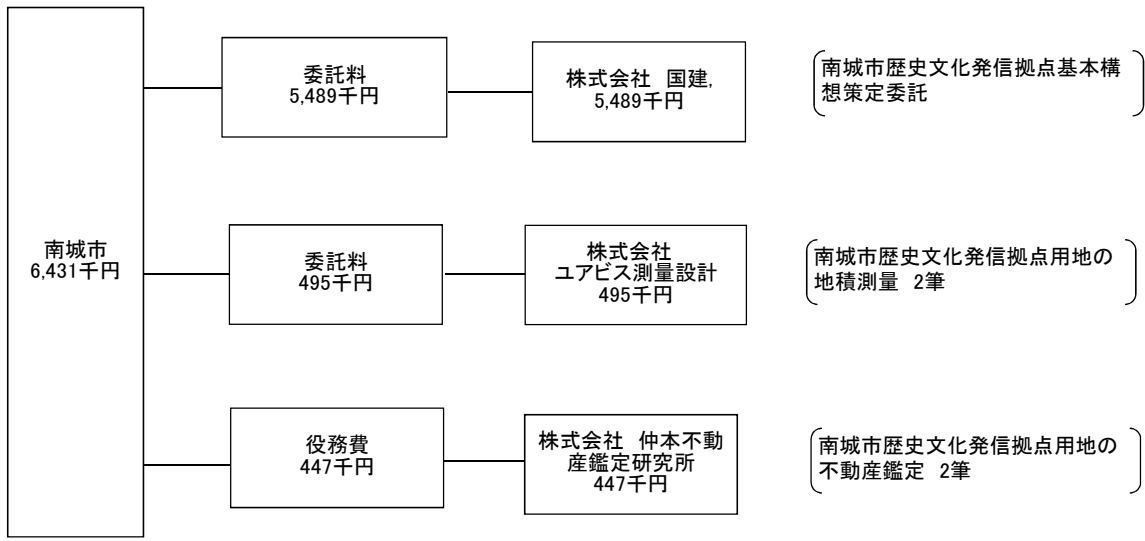
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	R5年度は、R4年度に作成した基本構想を基に、基本計画の策定を行う。	基本計画の策定にあたっては、地域からも親しまれる施設とするため、市民の意見も取り込む必要がある。

**今後の取り組み方針**

基本計画では、市民の意見も取り込むためにアンケート及びパブリックコメントを実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,431	6,431	5,144	1,287	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザル方式及び見積最低価格で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	11南城市						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-⑤	奥武島いまいゆ市場観光施設機能強化事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア 「新しい生活様式/ニューノーマル」 における安全・安心で快適な観光 の推進			
担当部署名	農林水産部 産業振興課	事業実施 (予定)年度	令和4～令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)		
事業内容	奥武島いまいゆ市場に飲食スペースの整備を行い、施設の利便性を向上させることで、更なる県内外の観光客を誘客し地域の活性化を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( 令和7年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R4年度	R5年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	2,578				
		(b)予算現額	2,486				
		(c)増減額(b-a)	▲92				
		(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)		2,486				
	B. 執行済額		2,486				
	うち交付金充当額		1,988				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		入札差金を補正減し、適正に予算を執行することが出来た。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	基本設計の実施	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	奥武島いまいゆ市場観光施設の基本設計を実施した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	基本設計の完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	奥武島いまいゆ市場観光施設の基本設計を完了した。					

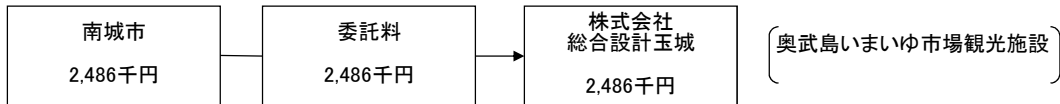
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	施設の機能強化により、施設の利便性が確保されたかを検証する必要がある。	事業の効果を検証するために、人流ビッグデータの活用を検討する。

**今後の取り組み方針**

人流ビッグデータを活用し、コロナ禍前の繁忙期(7~10月)の奥武島への来島者数を調べR7成果目標を設定し、事業効果の検証を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,486	2,486	1,988	498	0



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は指名競争入札で選定しており、妥当である。 ○不用額は無く、適正な規模であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	11南城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	学習支援員配置事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部署名	教育部 教育指導課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行うため、学習支援員を配置し、学力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		17,640	17,640	17,928	19,422	19,449
			17,640	17,640	17,928	17,357	19,449
			0	0	0	▲ 2,065	0
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	12,506	14,650	14,751	14,973	15,402
		うち交付金充当額	10,005	11,720	11,801	11,978	12,321
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	70.9%	83.0%	82.3%	86.3%	79.2%
		予算の状況の説明	事業開始時に人員の不足により支援員を配置できず、また年度途中で退職があり、その後配置できなかった影響もあり、不用額4,047千円が生じたが、概ね予定通り事業を実施することができた。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	市立8小学校へ学習支援員9名配置	目標	( 8小学校 学習支援員8名 )	( 8小学校 学習支援員8名 )	( 8小学校 学習支援員9名 )	( 8小学校 学習支援員9名 )	
		実績	8小学校 学習支援員延べ9名	8小学校 学習支援員延べ8名	8小学校 学習支援員延べ12名	8小学校 学習支援員延べ10名	
市立4中学校へ学習支援員4名配置	目標	( 4中学校 学習支援員4名 )	( 4中学校 学習支援員4名 )	( 4中学校 学習支援員4名 )	( 4中学校 学習支援員4名 )		
	実績	4中学校 学習支援員延べ5名	4中学校 学習支援員延べ4名	4中学校 学習支援員延べ6名	4中学校 学習支援員延べ4名		
	達成状況説明	・小学校は、途中退職により、2校において予定どおりに支援員を配置することができなかった。 ・中学校は、途中退職により、2校において予定どおりに支援員を配置することができなかった。					
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率の差 小学校:県平均以上	目標	(    )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	(    )
		実績		県平均 57.2 小学校 55.5 △1.7	県平均 55.2 小学校 51.8 △3.4	県平均60.1 小学校57.4 △2.7	
	沖縄県学力到達度調査における県平均正答率の差 中学校:県平均以上	目標	(    )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	( 県平均以上 )	(    )
実績			県平均 51.0 中学校 51.5 0.5	県平均47.8 中学校 45.7 △2.1	県平均47.5 中学校48.3 0.8		
	進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査を県平均と比較すると、小学校では△2.7ポイントと県平均に届かず目標に達しなかったが、中学校では0.8ポイント上回り目標を達成することができた。 中学校においては、5校中3校が県平均を上回ったものの2校は県平均に届かなかった。 小学校においては、9校中4校のみが県平均を上回ったものの5校は県平均に届かなかった。					

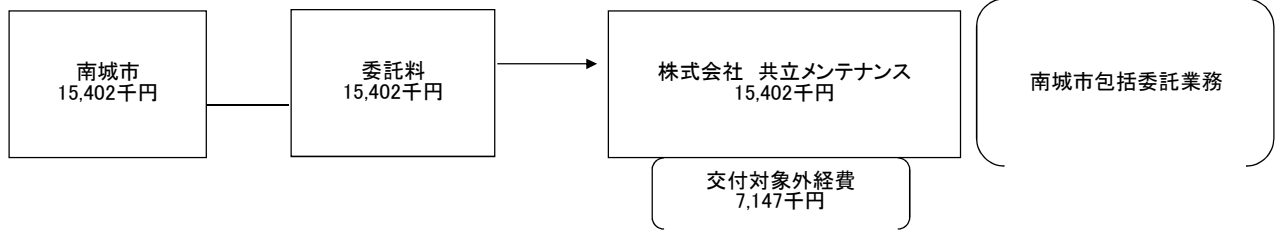
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	県内で教員不足が生じている現状もあり、学習支援員の確保に苦慮している。その理由として長時間勤務に難色を示す方が多い。	学習支援員の確保に向けて短時間での勤務形態を検討する。また、限られた支援員配置でも学力向上に結びつくように支援のあり方についても検討する。

**今後の取り組み方針**

雇用形態を包括委託契約から学習指導に関する能力を備えた外部人材を配置する支援体制へ変更し、短時間勤務での支援員の募集を行う。また、学習支援対象を小学校3年生の算数、中学校1年生の数学とし、小中学校での基礎となる単元でのつまづきを減らし、学習意欲の低下を防ぐ。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
22,549	15,402	12,321	3,081	7,147



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○概ね予定通り事業実施でき、事業規模も適正であった。 ○費目・用途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	11南城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	特別支援教育支援員配置事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ			
担当部署名	教育部 教育指導課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	特別な支援を要する園児・児童・生徒に対応した支援を行うため、特別支援教育支援員を配置し、学校生活や学習上の困難の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		74,955	74,955	76,585	76,585	57,842
			74,955	74,955	76,585	69,085	57,842
			0	0	0	▲ 7,500	0
			0	0	0	0	0
		B. 執行済額	62,548	54,109	53,149	64,285	50,833
		うち交付金充当額	50,038	43,287	42,519	51,427	40,666
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	83.4%	72.2%	69.4%	93.1%	87.9%
		予算の状況の説明	支援員配置計画に基づき支援員の目標数確保を目指していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による影響もあり、目標数を確保する事が出来ない状況や年度途中での退職もあり、不用額7,009千円が生じた。				
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	5幼稚園:特別支援教育支援員の配置	目標	( 12名 )	( 12名 )	( 12名 )	( 4名 )	
		実績	延べ12名	延べ24名	延べ29名	延べ13名	
	8小学校:特別支援教育支援員の配置	目標	( 36名 )	( 34名 )	( 34名 )	( 30名 )	
		実績	延べ32名	延べ31名	延べ35名	延べ35名	
	4中学校:特別支援教育支援員の配置	目標	( 6名 )	( 8名 )	( 8名 )	( 5名 )	
実績		延べ6名	延べ8名	延べ7名	延べ5名		
達成状況説明	特別支援教育支援員配置計画に基づき、概ね適正な配置により支援を行うことができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	特別支援教育支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	( )
		実績		88.50%	86.30%	82.00%	
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症拡大の状況下ではあったが、対象児童生徒への適切な支援を行うことができ、目標を達成することができた。						

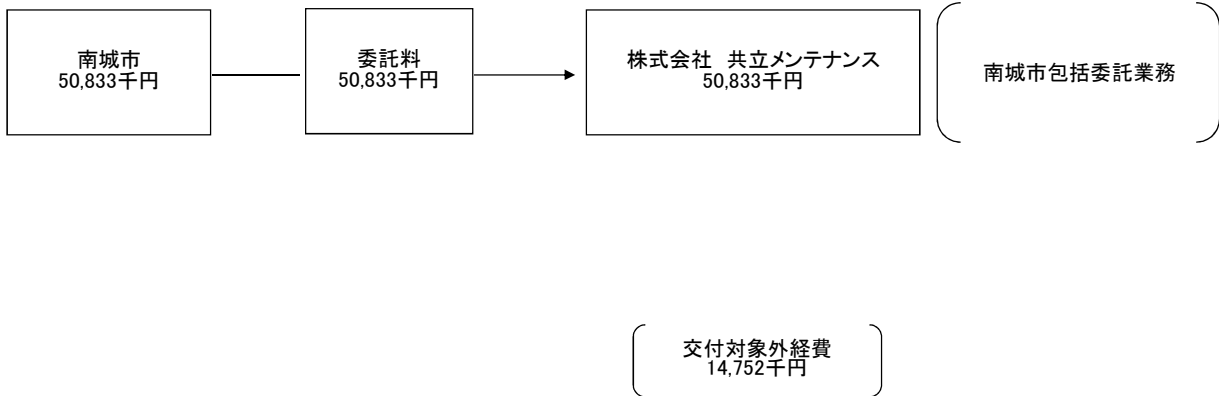
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	特別支援対象児童生徒の社会的な自立に向けた支援体制の充実、強化が求められている。	支援員の雇用形態変更も含めて、本事業の実施体制を検証する必要がある。

**今後の取り組み方針**

さらなる支援体制の充実、強化に向け「南城市第1次南城市特別支援教育推進計画」を令和4年度に策定した。今後は、同計画に基づき取り組んでいく。  
 具体的な見直し改善事項については、特別な支援を要する児童生徒へより迅速な対応ができるように包括委託契約から会計年度任用職員へ雇用形態を変更し、教職員と支援員のより緊密な連携を取り、支援対象児童生徒の社会的な自立に向けての支援を行う。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
65,585	50,833	40,666	10,167	14,752



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募プロポーサル方式により、企業組織、実績等を勘案した上で選定しており妥当であったと考えている。 ○欠員が生じた学校に支援員を配置するまでに時間を要したことや、コロナ禍の影響もあり、不用額は出ているが、概ね事業内容を実施することができ、予算規模は適正な規模であった。 ○費目・用途については、出勤簿や業務日誌等の書類により確認しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	11南城市							
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>								
事業番号・事業名	2-③	ICT支援員派遣事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ			
担当部署名	教育部 教育指導課	事業実施(予定)年度	令和3～令和7年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Society5.0に対応する教育の推進 Ⅲ-3-(1)			
事業内容	ICT機器を活用したわかりやすい授業の構築を図り、教育の質を確保するため、市内の小中学校にICT支援員を派遣する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )							
<b>予算額・執行額【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)	(a) 当初予算額	30,624	12,760				
		(b) 予算現額	9,570	12,650				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 21,054	▲ 110				
		(d) 繰越額	0	0				
	A. 計(b+d)		9,570	12,650				
	B. 執行済額		9,570	12,650				
	うち交付金充当額		7,656	10,120				
	次年度繰越額		0	0				
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%				
予算の状況の説明		当初の予定通り、予算を執行することが出来た。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	市内13小中学校にICT支援員2人を派遣する。		目標	( 2人 )	( 2人 )	(      )	(      )	
			実績	2人	2人			
			目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
実績								
達成状況説明	ICT支援員2名を配置し南城市立各小中学校へ派遣することが出来た。							
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)	
	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上		目標	(      )	( 85%以上 )	( 85%以上 )	(      )	(      )
			実績		96.30%	93.35%		
	・教諭にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合が80%以上		目標	(      )	( 80%以上 )	( 80%以上 )	(      )	(      )
			実績		60.20%	56.65%		
進捗状況説明	・ICTを活用した授業について分かりやすかったと回答は目標より8.35%上回る結果となった。 ・教諭へのアンケートとしてICT機器の習熟度が上がったとの回答は目標より23.35%下回り目標に届かなかった。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	13校へ2名のICT支援員を派遣し巡回させていたが、教職員全体への支援が行届いていなかったことが、成果目標を達成できなかった原因と思われる。	ICT機器の習熟度を向上させるため、ICT支援員の増員を行う必要がある。

**今後の取り組み方針**

令和5年度はICT支援員を1名増員し、教職員に対してよりきめ細かな支援を実施していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
12,650	12,650	10,120	2,530	0



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募プロポーサル方式により、企業組織、実績等を勘察した上で選定しており妥当であったと考えている。 ○適正な予算規模であった。 ○費目・用途については、完了後に検査を実施しており事業目的達成のため、必要であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名	11南城市							
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>								
事業番号・事業名	2-④	電子黒板等学校ICT機器機能強化整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ Society5.0に対応する教育の推進				
担当部署名	教育部 教育指導課	事業実施 (予定)年度	令和4年度～令和7年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)			
事業内容	市内各小中学校へ電子黒板を整備し、タブレットPC端末等のICT機器との連携による個別最適な学びの実現を図る。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R7年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	201,565					
		(b)予算現額	139,480					
		(c)増減額(b-a)	▲62,085					
		(d)繰越額	0					
	A. 計(b+d)		139,480					
	B. 執行済額		137,126					
	うち交付金充当額		109,700					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		98.3%					
予算の状況の説明		当初予算額と執行済額との差額は、入札残によるものである。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	南城市立各小中学校における電子黒板整備		目標	( 143台 )	( )	( )	( )	
			実績	143台				
			目標	( )	( )	( )	( )	
			実績					
達成状況説明	南城市立小中学校へ電子黒板を整備することが出来た。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R5年度)	
	電子黒板整備143台		目標	( )	( 143台 )	( )	( )	( )
			実績		143台			
	【R5成果目標】 児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かり易かったと答えた割合が85%以上		目標	( )	( )	( )	( )	( 85% )
			実績					
	進捗状況説明	・予定通り電子黒板を整備することが出来た。						

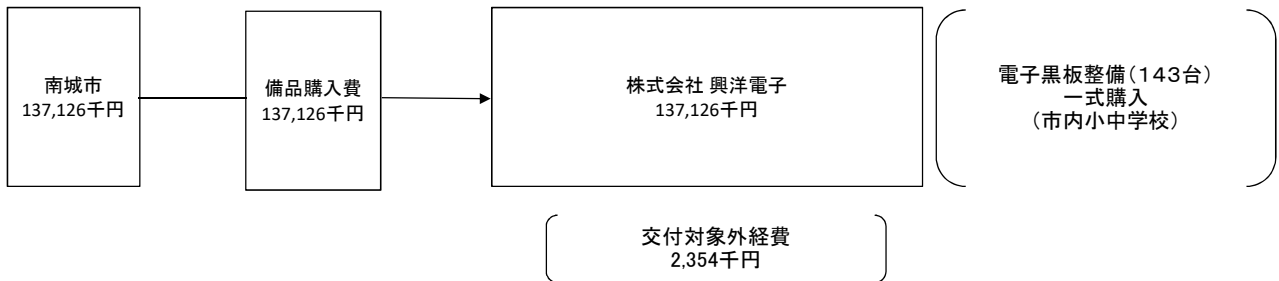
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板には様々な機能を有しており、操作方法など、扱う教員の知識や技能の差が生じており、授業の質を確保する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の質を確保するためにICT支援員を派遣し、教員の知識や技能に合わせた支援体制を強化する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・電子黒板の様々な機能を効果的に活用して頂くため、ICT支援員による研修会や事例紹介など、活用促進を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
139,480	137,126	109,700	27,426	2,354



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 委託事業者は一般競争入札により、企業組織、実績等を勘案した上で選定しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○ 予算規模については、予算執行率98.3%であり、適正な規模と判断した。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○ 費目・用途については、完了後に検査を実施しており事業目的達成のため、必要であった。

市町村名	11南城市						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	2-⑤	不登校児童生徒支援体制強化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ		
担当部署名	教育部 教育指導課	事業実施(予定)年度	令和4～令和10年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	不登校児童生徒に対する更なる支援体制を強化するため、校務支援システムの導入、適応指導教室・校内自立支援教室の設置、不登校支援員の配置等を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R10年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input checked="" type="checkbox"/> その他(使用料)						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	22,570				
		(b)予算現額	22,570				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)		22,570				
	B. 執行済額		19,531				
	うち交付金充当額		15,624				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		86.5%				
予算の状況の説明		予算額と執行済額との差額は、入札残によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	校務支援システムライセンス購入及び初期設定作業の実施	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
		目標	( )	( )	( )	( )	
実績							
達成状況説明	令和4年度は校務支援システムのライセンス購入と初期設定作業を実施し完了した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R10年度)
	校務支援システムライセンス購入及び初期設定作業の完了	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	【R10成果目標】 児童生徒の不登校率:小学校1.0%、中学校2.0%以下	目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
進捗状況説明	令和4年度は校務支援システムのライセンス購入と初期設定作業を実施し完了した。						

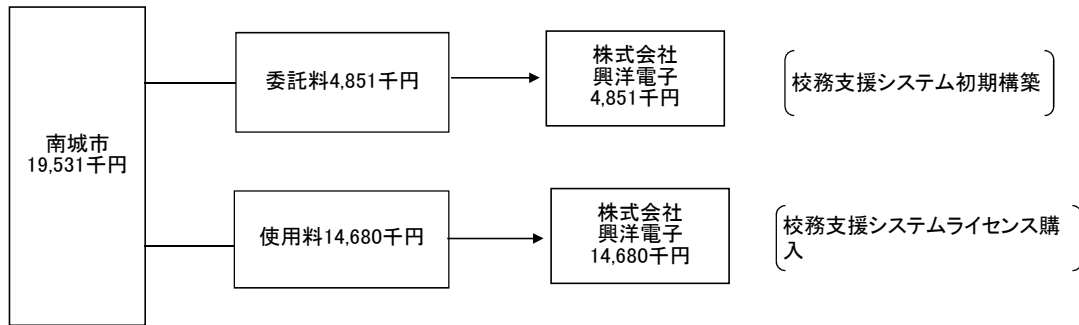
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	R5年度は4月より適応指導教室、校内自立支援教室の設置、不登校支援員の配置を行い、9月より校務支援システムの本格運用を行う。	R5年度は適応指導教室、校内自立支援教室の設置、不登校支援員等の配置も行うため、それらと教職員とが密接に連携し、不登校児童支援にあたっていく必要がある。

**今後の取り組み方針**

R5年度より本格運用する校務支援システムを活用し、教職員と不登校支援員間での不登校児童生徒に関する情報共有を強化し、不登校児童生徒へのきめ細かな支援を実施する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
19,531	19,531	15,624	3,907	0



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○執行率は適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	11南城市						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	優良繁殖牛導入支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア	
担当部署名	農林水産部 産業振興課	事業実施(予定)年度	平成26~令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化		
事業内容	和牛繁殖農家の経営の安定化に向け、畜産農家が生産する子牛の品質及び価格の向上を図るため、畜産農家に対して優良繁殖雌牛を貸し付けるものに対して支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( )年度						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
		(b)予算現額	25,000	25,000	21,276	20,923	30,000
		(c)増減額(b-a)	0	0	▲3,724	▲4,077	5,000
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A.計(b+d)		25,000	25,000	21,276	20,923	30,000
	B.執行済額		22,727	22,074	20,566	20,977	23,440
	うち交付金充当額		18,181	17,659	16,452	16,781	18,751
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		90.9%	88.3%	96.7%	100.3%	78.1%
予算の状況の説明		ロシアのウクライナ侵攻による飼料価格の高騰があり、繁殖牛の買付費用が当初の想定よりも低く抑えられたため、不用額が発生した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	優良母牛導入支援		目標 ( 50頭 )	( 50頭 )	( 50頭 )	( 60頭 )	
			実績 50頭	50頭	50頭	60頭	
達成状況説明	導入頭数目標の60頭導入を達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(H28年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合:117.1%以上		目標 ( 104% )	( 117.10% )	( 117.10% )	( 117.10% )	( )
			実績	110.50%	109.75%	118.70%	
			目標 ( )	( )	( )	( )	( )
進捗状況説明	導入した優良母牛から産まれる子牛とそうでない子牛との価格差の割合は118.7%となり、目標を達成することができた。 セリ平均価格 導入牛から産まれた子牛 (A) 619,683円(実績:224頭) 導入牛以外から産まれた子牛 (B) 522,207円(実績:522頭) (A)÷(B)=118.7%						
	※当年度に導入した優良母牛から産まれた子牛は販売までに時間を要するため、これまでに導入した優良母牛から産まれた子牛の令和4年度のセリ価格で実績を算出。						

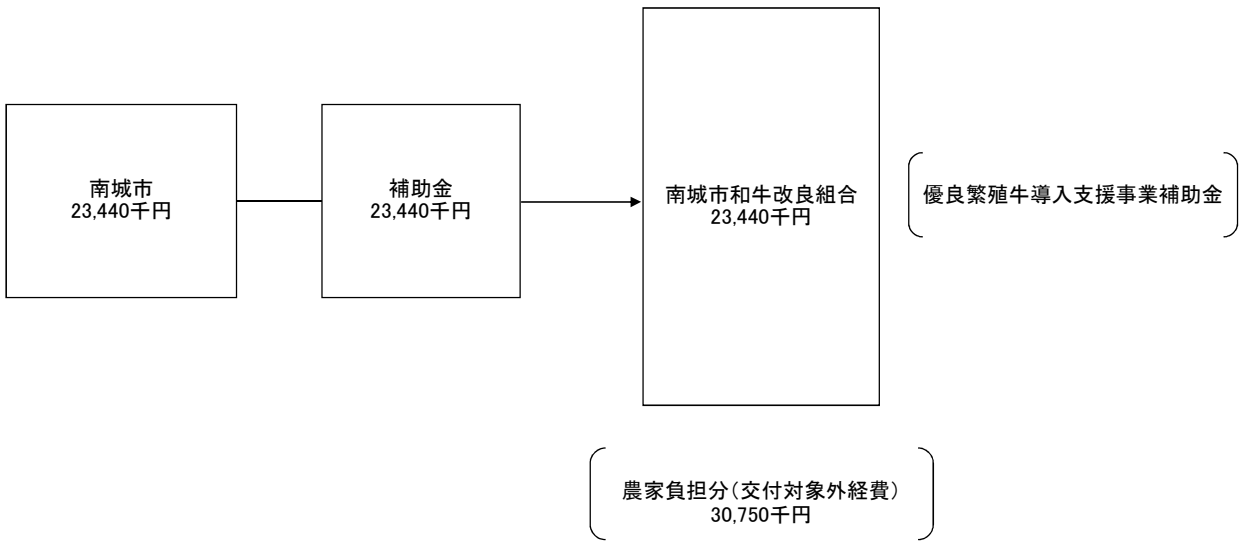
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナウイルスの感染拡大が落ち着き、肉用牛の需要が戻っている。</li> <li>・ロシアのウクライナ侵攻により、飼料価格が高騰しており、農家の経営を圧迫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、価格差の割合を上げるために質の良い仔牛を提供する必要がある。また、繁殖牛農家の経営安定のために保留牛の出荷のサイクルを早める必要があり、さらに自家保留に努める必要がある。</li> <li>・また、畜産農家の経営が継続できるように、肉用牛の導入支援だけでなく、その他の補助も活用しながら重層的に支援する必要がある。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・関係機関と連携して、講習会等を開き飼養管理等の指導を行い、仔牛の質の向上によるセリ価格の向上と、繁殖牛の分娩間隔の短縮による出荷頭数を増やし、農家の経営安定に繋げる。
- ・国、県が実施する飼料補助も活用し、畜産農家の経営が継続出来るように支援していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
54,190	23,440	18,751	4,689	30,750



資金の用途の点検・費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法については補助金交付要綱に基づき決定しており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○社会情勢を受けて牛の買付価格が低く抑えられたことにより不用額が生じたが、予算規模としては適正であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である農家は総事業費の5割以上を負担しており、事業内容から判断して妥当であると考える。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業費の確定時において検査、確認をしており、用途は目的に則し、必要な物に限定されている。

市町村名	11南城市						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-②	優良乳用牛リース支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア		
担当部署名	農林水産部 産業振興課	事業実施 (予定)年度	平成27~令和8年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化  Ⅲ-1-(6)		
事業内容	酪農家経営安定化に向け、乳用牛の生産乳量の増加と乳質の向上を図るため、酪農家に対して優良乳用牛を貸し付けるものに対し支援を行う。						
効果発現年度	■当年度      □後年度(      年度)						
実施方法	□直接実施      ■委託      □補助      □負担      □その他(      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	25,000	25,000	25,000	25,000	25,000
		(b)予算現額	25,000	25,000	22,500	21,415	17,860
		(c)増減額(b-a)	0	0	▲2,500	▲3,585	▲7,140
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		25,000	25,000	22,500	21,415	17,860
	B. 執行済額		24,423	20,887	21,415	19,040	15,713
	うち交付金充当額		19,538	16,709	17,132	15,232	12,570
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.7%	83.5%	95.2%	88.9%	88.0%
予算の状況の説明		ロシアのウクライナ侵攻による飼料価格の高騰があり、乳用牛の買付費用が当初の想定よりも低く抑えられたため、不用額が発生した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	優良乳用牛導入支援		目標 ( 50頭 )	( 50頭 )	( 50頭 )	( 60頭 )	
			実績 50頭	50頭	50頭	60頭	
		目標 (      )	(      )	(      )	(      )		
		実績					
達成状況説明	導入頭数目標の60頭導入を達成した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (H28年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	生産乳量(1頭):7,988kg以上/年		目標 (7,824kg以上)	(7,824kg以上)	(7,988kg以上)	(7,988kg以上)	(      )
			実績	8,543.5kg	8,917.9kg	8,807.2kg	
	乳質(脂肪率):3.87%以上		目標 (3.89%以上)	(3.87%以上)	(3.87%以上)	(3.87%以上)	(      )
		実績	3.98%	3.98%	3.89%		
進捗状況説明	・生産乳量目標7,988kg以上に対して実績が8,807.2kgとなり、目標値を達成できた。 ・乳質(脂肪率)の向上3.87%以上に対して実績が3.89%となり、目標値を達成できた。						

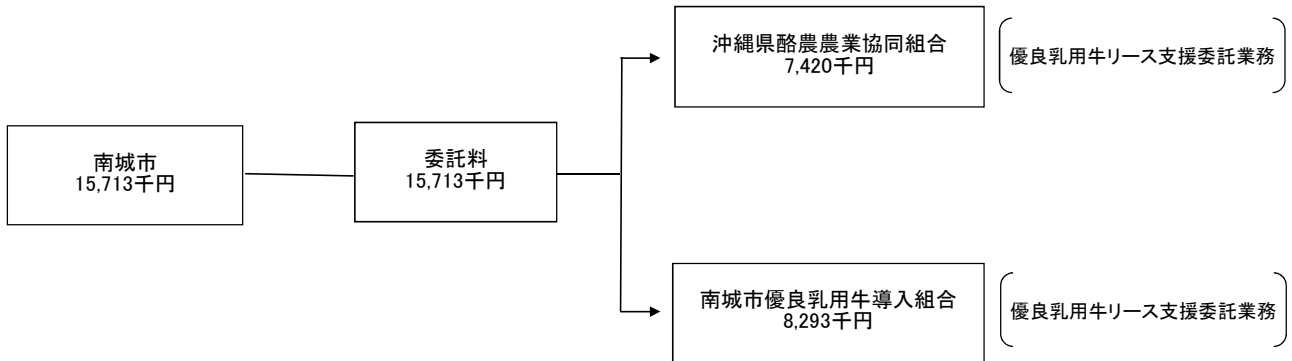
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	ロシアのウクライナ侵攻により、飼料の価格が高騰しており畜産農家の経営を大きく圧迫している。	畜産農家の経営が継続できるように、乳用牛の導入支援だけでなく、その他の補助も活用しながら重層的に支援する必要がある。

**今後の取り組み方針**

国、県が実施する飼料補助も活用し、畜産農家の経営が継続出来るように支援していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
15,713	15,713	12,570	3,143	0



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先の選定については、地方自治法及び本市の財務規則に基づき随意契約しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額が生じたが、社会情勢を受けてのセリ価格下落によるものであり、予算規模は適正であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○事業費の確定時において検査、確認をしており、用途は目的に即し、必要なものに限定されている。



市町村名	11南城市							
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>								
事業番号・事業名	5-①	佐敷海岸海辺のまちづくり推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(5)-イ			
担当部署名	土木建築部 都市計画課	事業実施 (予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠久のまちづくり Ⅲ-10-(1)			
事業内容	佐敷海岸にある、人工海浜、マリナー跡地や静穏な海域を利用した海洋性レクリエーションなど、海辺を活用したまちづくり構想を策定する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	8,789					
		(b)予算現額	8,789					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	0					
	A. 計(b+d)		8,789					
	B. 執行済額		8,789					
	うち交付金充当額		7,031					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初予定通りの予算執行をすることができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	佐敷海岸海辺のまちづくり構想の策定完了		目標	(完了)	( )	( )	( )	
			実績	完了				
			目標	( )	( )	( )	( )	
			実績					
達成状況説明	予定どおり構想を策定した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R5年度)	
	(仮)佐敷海岸海辺のまちづくり構想の策定完了		目標	( )	(完了)	( )	( )	( )
			実績		完了			
	【R5成果目標】 関係機関(県、市)による新たな活用及び整備に向けた協議:2回		目標	( )	( )	( )	( )	(2回)
			実績					
	進捗状況説明	予定どおり構想を策定した。						

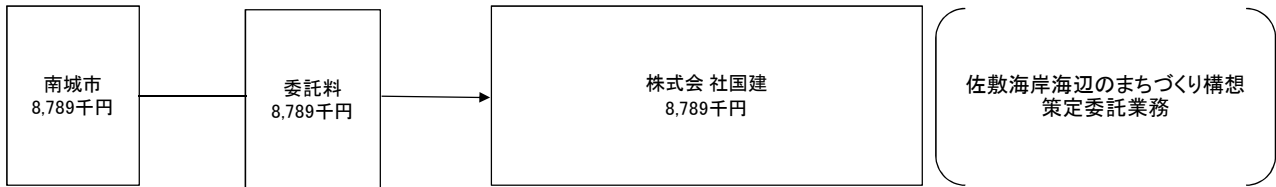
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	地域の意見等を聞くことにより課題等の整理ができた。 今後は、地域の意見等も反映させながら、関係機関と調整し構想実現に向けて取り組んでいく。	本構想の実現に向けて関係機関と協議をし新たな活用及び整備に向けた検討を進める必要がある。

**今後の取り組み方針**

本事業で策定した構想を踏まえ、県等関係機関と調整を進めながら具体的な整備手法の検討を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
8,789	8,789	7,031	1,758	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は、プロポーザル方式で選定を行い妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予定通り事業実施でき、事業規模も適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		11南城市					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	低炭素なまちづくり推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ア		
担当部署名	企画部 まちづくり推進課 教育部 生涯学習課	事業実施 (予定)年度	平成28~令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	公共施設の照明機器や空調機器を省エネ機器に改修し、温室効果ガスの排出削減を図る。今年度は南城市文化センターの機器入替に係る設計業務と、大里中学校グラウンド照明機器の整備工事を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5~R6年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 〔「交付金」+ 「市町村負担」 ベース〕			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	68,024	18,900	51,570	32,778	33,836
		(b)予算現額	53,461	18,900	51,570	158,537	30,602
		(c)増減額(b-a)	▲14,563	0	0	125,759	▲3,234
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
	A.計(b+d)		53,461	18,900	51,570	158,537	30,602
	B.執行済額		51,132	18,884	51,533	158,537	30,602
	うち交付金充当額		40,905	15,107	41,226	126,829	24,481
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		95.6%	99.9%	99.9%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		入札差金を補正減し、適正に予算執行することが出来た。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	(南城市文化センター) 設計業務の実施		目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )				( 実施 )
			実績				実施
	(大里中学校グラウンド) LED照明整備の完了		目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )				( 完了 )
			実績				完了
達成状況説明		予定通り、活動することが出来た。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値
	(南城市文化センター) 設計業務の完了		目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )			( 完了 )	( )
			実績			完了	
	(南城市文化センター) 照明設備LED化によるCO2削減量 49.7t/年 削減(R6成果目標)		目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )			( )	( 49.7t )
			実績				
	(南城市文化センター) 空調機器の改修によるCO2削減量 27.48t/年 削減(R7成果目標)		目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )			( )	( 27.48t )
			実績				
	(大里中学校グラウンド) LED照明整備の完了 照明整備の完了		目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )			( 完了 )	( )
			実績			完了	
	(大里中学校グラウンド) 屋外照明LED化によるCO2削減量 13.2t/年 削減(R5成果目標)		目標 ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )			( )	( 13.2t )
		実績					
進捗状況説明		予定通り業務を実施し、目標を達成することが出来た。また、R3年度にLED化した南城市文化センターの舞台照明においても、年間の二酸化炭素排出量削減目標を達成することが出来た。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(南城市文化センター) 今年度、設計業務を終えて、令和5年度は照明機器取替工事、令和6年度は空調機器改修工事を行う予定となっている。	(南城市文化センター) 工事実施に際しては、南城市文化センターでの公演やイベントなどの運営に支障が生じないよう配慮する必要がある。
	(大里中学校グラウンド) LED照明の設置により、使用電力を下げると共に照度も以前より明るくなり、夜間の体育施設利用がより良い環境となった。	(大里中学校グラウンド) 屋外照明の操作は施設利用者が行うため、照明の消し忘れや使いすぎがないよう対策する必要がある。
<b>今後の取り組み方針</b>		
<p>(南城市文化センター) 工事実施の際には、施設管理者と調整を密に行い、工事の予定工期内完了、南城市文化センターの施設運営に支障がないように努める。</p> <p>(大里中学校グラウンド) 照明点灯について既定の使用時間が過ぎると電源が切れるタイマー設定を行ない、できる限り使用電力を抑え温室効果ガスの排出削減に寄与する。</p>		

<b>資金の流れ</b> (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	30,602	30,602	24,481	6,121	0
<pre> graph LR     A[南城市 30,602千円] --&gt; B[委託料 3,685千円]     A --&gt; C[工事請負費 26,917千円]     B --&gt; D[榊里設計 3,685千円]     C --&gt; E[南西電設㈱ 26,917千円]     </pre> <p style="text-align: center;">(南城市文化センター照明機器取替及び空調機器改修設計委託業務)</p> <p style="text-align: center;">(大里中学校屋外環境照明整備工事)</p>					
資金の流れの点検・評価	評価	点検項目			評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。			<p>○指名競争入札を実施しており選定方法は妥当である。</p> <p>○予算規模は適正であった。</p> <p>○費目、使途については、完了検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			